

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

由布市長 相馬 尊重

|                   |                    |  |
|-------------------|--------------------|--|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 大分県由布市<br>(442135) |  |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 大龍西部<br>(大龍西部)     |  |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和6年2月20日<br>(第2回) |  |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

地域内で主に栽培している作物は、米(つや姫、なつほのか、ひのひかり)、飼料稲である。現在取組を行っているものは、鳥獣被害防止対策、農地の保全・管理、飼料用作物の栽培、スマート農業である。地域が抱える課題として農業者の高齢化、農業者の減少、農業にかかる経費の増加、農家収入の低下、新規の担い手不足、鳥獣被害の増加、有害鳥獣の駆除人材の不足が挙げられる。これらの課題の原因や理由として主に挙げられるのは、米の価格低下にもかかわらず、生産費用の高騰(肥料、除草剤等)、猪被害、休耕田保全の手間がかかりすぎる事、また農業機械の修理費用も高いこと、新しい機械を購入しても生産費用が合わないことである。

主な作物: 米(つや姫、なつほのか、ひのひかり)、飼料稲

## (2) 地域における農業の将来の在り方

減農薬、化学肥料削減を行い、環境保全型農業に取り組むこと、有機や無農薬栽培など環境に配慮した農業技術を導入すること、担い手確保のため地域で新規就農希望者との交流を図ることを目指す。また地域の所得向上に向け、輸出向け農作物の生産、有機農業の導入、企業による農業参入に取り組むと考えている。現状では赤字経営が多いため、農業収支が合うようにしていきたい。面積を増やせば農業機械の買い替えが必要となる。高齢化が進むと、農地保全も不可能になってくるため、支援を求めたい。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

|                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積                       | 50.9 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積      | 50.9 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha      |

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

|                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 農用地の集積、集約化の方針                                                                                                                                            |
| ・農事組合法人と認定農業者を中心となる経営体として位置づける。今後の地域農業のあり方として高付加価値化を目標にしている。<br>・担い手に集積・集約化することに努める。地域内の人数では就農者が増えないので地域外からの人材確保に対して、外部からの協力が必要である。現在、法人では、水稻の受託等を中心に経営している。 |
| (2) 農地中間管理機構の活用方針                                                                                                                                            |
| 農地中間管理機構の活用のため、情報収集を積極的に行い、将来活用できるか検討を行いたい。                                                                                                                  |
| (3) 基盤整備事業への取組方針                                                                                                                                             |
| 現状維持。                                                                                                                                                        |
| (4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針                                                                                                                                        |
| ・ゆふ農林業サポート人材バンクとも連携して確保・育成を進める。<br>・高齢による農業者離れ。農業法人においても役員不足等による就農者不足のため、他業種からの人材確保を進める。                                                                     |
| (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針                                                                                                                         |
| ドローンによる除草剤、防虫剤等散布を行っている。                                                                                                                                     |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

|                                               |                                             |                                             |                                          |                               |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料        | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④輸出             | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等            | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設             | <input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他 |                               |

【選択した上記の取組方針】

- ①防護柵の点検及び修繕を行っていく。  
 ③ドローンによる除草剤、防虫剤等散布。  
 ⑦引き続き中山間事業を活用し、維持管理を行っていく。  
 ⑨飼料用作物の作付。